

### 3月15日（火） 15時 第3回緊急対策会議報告

#### 報告事項

- (1) ホームページ（14日12時10分）・インターネット（14日11時頃）が回復した
  - ・3月14日15時更新「大震災による学校法人東北学院各校の対応について」
  - ・3月14日16時更新「在学生の皆様へ：大震災による就職課からのお知らせ」
  - ・3月14日17時30分更新「一般入試（後期日程）、社会人特別入試B日程、大学入試センター利用試験（後期）、編入学試験B日程、の合格者受験番号を公開」
  - ・3月14日19時30分更新「在学生・保護者の皆さまへ：卒業・学位記授与式中止のお知らせ」
  - ・3月15日（各校）10時更新「注意喚起：福島原発事故による備え」
  - ・3月15日（榴ヶ岡高等学校）10時更新「入学予定者の皆様へ：第二次手続きへの対応について」
  - ・3月15日13時更新「在学生・保護者の皆様へ：大震災における学生の安否確認について」
- (2) 電話回線の回復（14日12時頃）
- (3) 課長打合せ（14日13時）
  - ・土樋キャンパス事務室片づけを終了した
  - ・15日からの出勤体制および多賀城キャンパスへの応援体制を決めた
- (4) 本日の泉キャンパスの状況
  - ・建物内安全チェックを始めた
  - ・1号館・礼拝堂のコンセント抜き
  - ・生協からカップ麺等多賀城向け物資をワゴン車に積んだ
  - ・永和台町内会にプール水を供給
- (5) 本日の多賀城キャンパスの状況
  - ・3号館本館部分入室禁止（但し、附属部分は入館可能）
  - ・4号館4階は進入禁止
  - ・9号館入館禁止
  - ・体育館入館禁止
  - ・その他は建物診断結果を受け、入館可とした
  - ・礼拝堂は避難所となっている
  - ・キャンパス災害対策本部は1号館2階事務室に移動した
  - ・（15日13時10分連絡） 建物の出入について。1号館礼拝堂以外は禁止。但し、建物診断士の判定の結果を踏まえて、実験室の危険防止のため管財係の立会いの下

一時間に限って入室を許可する。特に建物の傷みの激しいのは、3号館、4号館4階、これらの入室は絶対認めない。

(6) 土樋キャンパスの状況

- ・建物の立入り状況の変更

4号館・7号館・礼拝堂・90周年ホール・押川記念館ホールを立入り禁止としたが、その後の調査の結果次のように変更する。立入り許可の建物は、1号館(4-5階)、本館、8号館(2-3階)、大学院棟施設課だけとする。

- ・煙突は重機を入れ撤去作業中。

(7) 中高・榴ヶ岡の状況

- ・生徒たちの避難場所を合宿所から図書室に移動した

(8) 幼稚園の状況

- ・閉鎖を継続している

(9) カウンセリングセンター

- ・土樋キャンパスの滞在の避難学生への対応を整えた

(10) 大学

- ・24日の卒業式を中止にした(HPおよびプレスリリースした)
- ・国際交流部より(「2011年度アメリカ研究夏期留学参加者ガイダンス」29日15時開催予定は延期、ドイツトリア大学関係今晚帰国する。中国からの留学生3名のうちの1名が帰国を希望している。)

(11) 教職員の安否確認状況

(12) お見舞い来信あり

(3月14日)

- ・学校法人 西南学院院長 寺園 喜基先生 電話にて(庶務部長対応)
- ・東京電機大学 研究企画室 堀 則子様 電話にて
- ・東六番丁教会 長老 稲垣様 ご来室
- ・キリスト教学校教育同盟 電話にて(庶務課対応)
- ・広島女学院 手段等不明
- ・The Association of Christian Universities and Colleges in Asia(ACUCA) メールにて

(3月15日)

- ・青山学院大学 学長 伊藤定良先生 電話にて(星宮学長対応)
- ・カメイ社会教育振興財団 電話にて 事務局長 片倉様
- ・ピョンテック大学総長のお嬢様から安否確認の電話あり(庶務課対応)  
関係者一同無事、本院の建物は津波の影響は受けていないと返答
- ・日本私立大学連盟 出口 喜昌様

- ・青山学院大学 宗教部長 島田 先生他
- ・Franklin and Marshall College President Daniel R. Porterfield  
Provost and Dean of the faculty An Steiner
- ・平澤大学 具 コンヨン先生（日本語）
- ・トリア大学 下羽 友幸先生（日本語）

(13) 新入生の住居確保対応について（生協より）。アパート予約受けていたが、立入り禁止のため対応ができない。問い合わせがあったら、学生の氏名など記録してもらいたい。ホームページにも掲載願いたい。

(14) 学生部より

- ・電話確認対応について
- ・安否確認を寄せていただきたい。

(15) 多賀城キャンパス

- ・9時より対策会議を行った。7名の応援を維持してもらいたい。現在は増員不要。
- ・10時より建物の入館の緩和を行った。入館禁止の場所には施錠した。
- ・11時平河内理事長と工学部長が多賀城市役所へ行き、市長を訪問した。避難の対応などについて話をした。
- ・被災者への食料などは自衛隊の方から適宜送られてきている。

(16) 泉キャンパス

- ・電話が通じた。問い合わせが多い。特に、新入生への対応についてホームページに掲載願いたい。
- ・東から正門までの通路を9時から10時まで職員が居る時間を通行可能としている。

(17) 財務

- ・給与支払いに関して銀行との交渉を終えた。実施詳細に関しては後日連絡する。

(18) 生協

- ・生協より一炊き出しの準備があるが、入館との関連もあるので検討願いたい。施設より一まだ、建物診断済ではないが、厨房は大丈夫かと思う。生協より一在庫を確認するために職員を入りたい。対策会議の議場より一施設課職員同伴で今すぐ確認することを許可した。生協より一調べた後、カレーは300食、おにぎりはそれ以上出食可能であることが分かった。時間や日程を定めていただきたい。施設部長より一余震などの時は注意してもらいたい。生協より一本部詰、ボランティア学生、体育館学生の人数を教えてもらいたい。生協から一対応は今すぐ始めたい。対策会議の議場一今夜は学生40名なので70人分の対応を願いたい。生協より一6時ぐらいに食事は準備できる予定である。

(19) カウンセリングセンター

- ・滞在学生へのカウンセリングを行っている。窓口は開いている。臨時職員はいない。専任カウンセラー1名森谷と職員高原と所長が対応している。教職員のメンタルヘルスが心配である。

## 協議事項

### (1) 事後承認事項

- ・卒業式を中止とした経緯説明（斉藤副学長より）
- ・対応策について（学務からの提案、詳細は24日の項目を参照）

### (2) 敬和会は中止とする。（敬和会星宮会長より提案）

### (3) 来週からの行事予定について

23日（水）常務理事会（13時より）、募金委員会（延期）、SH対策委員会（延期）

24日（木）大学卒業式（中止）〔代替案（学務担当副学長と学務部長提案）：来校者へ渡す、もしくは、郵送で対応する。ホームページに掲載予定。郵送の場合、住所の把握が重要。特に、沿岸部学生の連絡先については学生部と相談する。〕

25日（金）中学校卒業式（30日に変更）、〔中高3/25終業式実施予定〕

榴ヶ岡〔3/23終業式実施予定〕

非常勤講師懇談会（中止）、入試実施・管理委員会（25日は手続き締切日、書類がなくても申し出があれば受け付ける。4月に開催したいので延期。詳細は臨時学部長会にて決定する）

緊急対策会議（15時）、臨時学部長会（15時半）、

敬和会退職者感謝の会（中止）

26日（土）「教職課程センター教育実習事前指導4」14時（延期）

28日（月）仙台商工会議所との協定（延期の方向で検討）、成績発表1.3年生／資料配布2年生（延期）、「教職センター小学校プログラム説明会」（延期）、

29日（火）工学部成績発表・教務ガイダンス（3・4年生と原級止1年生）（延期）、  
「2011年度アメリカ研究夏期留学参加者ガイダンス」（延期）

30日（水）多賀城市長表敬訪問（中止）、常務理事会（実施）、工学部成績発表・教務ガイダンス（2年生）（延期）、東北学院総合ネットワーク委員会（延期）

31日（木）退職辞令交付式・懇親会（中止、感謝状などは郵送の予定）、キャンパス整備基本構想委員会（中止）

4月1日（金）新任教職員辞令交付式（参加可能者だけでも実施予定、10時、場所未定）。引き続き「給与並びに私学事業団等手続き説明会」および「学部・学科別懇談会—新任大学教育職員と大学役職者との懇談—」を開催する〔学部長の判断に委ねたい〕。

(4) 入学式について

- ・東北大学（4月22日の実施予定だが、市体育館使用不可との情報がある）
- ・入学式は中止とする。代替案は関係者で詳細を詰める。

(5) 学生安否確認情報のホームページ上での公開について（学生部よりの依頼事項に関して）。安否確認用の電話番号を設定し、適宜、対応策を構築する。ホームページ上での公開はしない。

(6) 多賀城キャンパスへの教員ボランティア組織化について。7名の有志が必要であるが、事務職員だけでなく、教育職員も参加願いたい。多賀城キャンパスに徒歩・自転車など自力で来校できる方。車で来てもガソリンの供与はない。業務命令を出し、労災適用とする。以上、教員ボランティア組織化は承認された。

(7) 学生安否確認の現状を説明願いたい（工学部長）。各情報を一元化して安否リストを作成している（学生部長）。東北大学のホームページを参照願いたい（工学部長）。東北大学のようなホームページ上での安否確認対応を検討したい（総務部長）。

(8) 星宮学長より。青山学院大学よりボランティアの申し出があった。学生部長、宗教部長、学長室長とで相談して下さい。

(9) 職員のメンタルヘルス対応として職員の勤務体制を考慮願いたい（宮城理事）。対応しているところです（総務担当副学長）。

(10) 新年度の学事行事予定など早急に公表願いたい（教養学部長）。詳細は、次回の時に報告願いたい（総務担当副学長）。

(11) 原発対応をどうしたらよいか。本日は雨でもあり職員たちの被爆が心配（教務課長）。閉鎖が必要か。継続審議とする。

(12) 耐震診断がいつ終了するかは不明。煙突は、明日撤去の予定である。

(13) 次回予定、第4回緊急対策会議 16日15時より

(14) 午後9時40分、福田教務課職員。HPで安否確認を行っていることを周知していることから、学生の親戚などから安否確認について問い合わせが学生課にたくさん来ている。どうすべきかとの問い合わせがあった。そこで、現在、安否確認（メール）がとれた学生については、問い合わせに対して「安否確認しています」との応答ではなく、「〇時〇分に返信メールがありました」との事実確認に限定する応答をすることにした。明日の会議で報告する必要あり。なお、安否確認には学生ボランティアがあたっているが、すべてを学生に任せたままでよいか、疑問がある。職員の中には、学生にこれらの仕事を任せたままでよいのかと懸念を述べるものもいる。学生に作業させつつ学生部職員による適切なコントロールが必要ではないか。

(15) 今回の大地震に対して、理事長および学長の何らかのメッセージをHPで対外的に公表する必要があると思われる。

一つは、学生に対してのメッセージ。安否確認のこと、今後の大学の対応、慌てず落ち着いた対応を求めるという主旨のメッセージ。もう一つは、学内教職員に対してのメッセージ。同じく進んでいる安否確認と共に、学生に対する教職員の対応、大学の体制を整えるために今後どう行動すべきかのメッセージ。そしてもう一つは、地域社会に対してのメッセージ。未曾有の災害を受けた中心地にある大学の、地域社会に対する公的役割の確認、協力体制のメッセージ。これらの主旨を説いたメッセージをHPに公表する必要がある。

(16) 仙台市の社会福祉協議会で、15日、災害救援ボランティアセンターの立ち上げがあった。全国各地から、今後、このボランティアセンターに専門的なボランティアスタッフが集まってくる。社会福祉協議会にかかわる本学の教員を通して、ボランティアセンターから内々の協力打診が来ている、との報告と問い合わせがあった。たとえば、スタッフボランティアへの駐車場提供、休憩所などの提供等、最低限の協力が可能かとの打診である。16日の対策会議で対応を話し合いたいとの回答を行っていった。

### 3月16日（水）15時 第4回緊急対策会議報告

#### 報告事項

1. 新年度（4月から）の学事・行事予定について（学務部長より）

別紙参照

2. 工学部との情報交換(11:00am)

(1) 斉藤副学長から:

① TGUは、4月下旬まで休校とする。講義関係の教務関係行事もそれまで休止する。また、平成23年度入学式も中止する(後者は、情報交換会では報告していない)。以上の情報をHPにUPした⇒【協議事項1】。

② 入試手続き関係の情報をHPにUPした⇒【協議事項2】。

(2) 総務部長から: 安否確認アドレス宛に約4300件のアクセスあり。このうち安否問合せも多数含まれている。工学部関係も百数件含まれているが、この情報は工学部長宛にメールで連絡済みである。

(3) 工学部長から:

① 10:20am 現在で工学部として安否を確認しているのは、学生:557名、院生29名。

② 避難所の状況;

・ 昨晚の宿泊者数; 約200名

・ 今朝の滞在者; 約120名(うち約30名は本学学生、このうち多くの者がボランティア活動に従事)

③ 工学部としては、避難所体制を今後も継続する(多賀城市との関係から)。

⇒上記報告に対して、総務部長から、ボランティア学生のメンタルヘルスに留意するよう要請。

④今朝現在の応援職員は6名だが、7名体制を維持したい。宿直は5名体制で行っている。

⑤工学部事務から、お礼とお願い、及び情報あり。

・お礼: 泉キャンパスからの食糧支援に感謝する。

・お願い: 対策委員会メンバーの多賀城視察をお願いする。

⇒本部から、佐々木学長室長が午前中に視察する旨を伝達した。

・情報: 多賀城周辺では、ガソリン泥棒が横行し始めている。

(4)施設部から:

・7号館屋上の煙突撤去作業は、本日は足場設置、明日中に撤去する予定である。

(5)中高から

①3/15夜からの宿泊生徒数は全体で11名(高校生10名、中学生1名)である。

このうち中学生については、16日に親と連絡がとれ、本日中に親元に引き渡す。

②3/15日に校医の山田先生が来校し、宿泊者11名の検診をしてくれた。その結果、アトピー及びアレルギー症の生徒に投薬を行う(3名)。また、軽い下痢症状の生徒1名がいたが、16日は回復して、朝食を食べた。

③宿泊している高校生10名については、いまだに親と連絡が取れていない。

(6)法人事務局から

①来年度の私大連出向について、私大連としては、本学の状況が一段落した段階でかまわないということである。

②3月分の給与支払いについて;

・給与は予定通り、振り込み手続きをする。

・給与明細は本日から、手渡し可能な職員には配布する。郵送の手続きもとるが、到着については不明とのこと。

③大成建設から依頼があり、同窓会館跡地を震災復興のための資材並びに重機等の置き場に利用したいとのこと。1から3ヶ月くらいか。⇒【協議事項3】

④大学関係事項;

・入学手続(学納金、奨学金等)の情報をホームページに情報を掲載してほしい⇒【協議事項4】

・8号館に避難している人に、入構許可証を発行したい⇒【協議事項5】

⇒暫定的措置として、法務研究科研修生1名の妻が、被災者支援要員として学外で活動し、避難所を出入りしているので、仮許可証を発行した。

(7)学生部から

①昨夜宿泊は、11名。本日、一人の親がきて、学生と対面した。その他の学生は行き場がないということで、滞在が長期化する可能性がある。

②安否確認アドレスに連絡を募っている。学生のネットワークには、重複も含め、4000 件を超す情報が集まっている。

(8)泉キャンパスから

①昨日から、ユアテック等が破損箇所を目視確認をしている。

②昨日、本日で、研究室等のチェックをしている。

③破損箇所報告：

④本日午前中、石巻在住の学生が来校して、当地の状況報告をした。情報が伝わらないので、対応を依頼していった。

⑤研究室の私物等確保のため、複数人で入室することを検討中。

(9)多賀城キャンパスから

①1 号館 2 階に本部設置。

②本日午前中に、学長に代わり学長室長が工学部を視察した。

③学長室長は多賀城市長にも挨拶した。

④宿直体制は今夜も維持する。

⑤支援物資はおおむね足りているが、灯油が不足しているので、多賀城市に要請している。

(10)学長室長：多賀城視察関係の報告

・礼拝堂には、約 600 名が避難していたという。

・市民文化センターにも 2000 人を超す避難者がきているので、礼拝堂の避難者を移動させるのは難しそうである。

(11)国際交流部長

・留学中の学生3名が帰国。

・私費留学生のうち、15 名の安否を確認。

・4 月から交換留学生としてくる予定の学生について、予定日とおりの入舎は困難であると伝えた。

(12)八幡先生から

・教育実習の事前説明は延期

する旨を HP に UP してある。



(13)その他

①多賀城キャンパスの修理について、工学部教員を中心としたチームで対応することも可能かもしれない。

⇒その方向で調整する＝承認

②各種証明書発行について：

・学務部長報告の内容に加えて、学生に不利とならない措置を検討する＝

(14)情報システム部

・チームメールが開通。

**協議事項**

1. 上記 2(1)①の報告内容が了承する。法務、法学研究科も同様とする。

2. 上記2(1)②の報告内容が承認された。

3. 上記 2 (6)③の報告内容につき、他社の申し入れについても柔軟に対応することが承認された。

4. 別紙財務部長からの資料参照にもとづき、理事会決定事項（2，4）を除き、資料の各内容が承認された。

⇒被災学生に対する、各種減免については入学後に検討することも併せて承認された。

5. 原案通り承認された。発行担当は総務部で行う。別の避難所から移ってくる避難学生にも発行する。

6. 学納金の納入期限について(財務部長より)

・納入期限を延ばすこともあり得ることを承認された。

7. 新任教職員への対応について

(1)教員

・4月下旬までは休講のため、住居も含め各自で判断する。

・TGU の研究室に送る書籍については、各キャンパス宛てに送付してかまわない。保管場所はこの後検討する。⇒承認

・辞令交付式は中止する。⇒承認

・詳細は学部長又は人事課に問い合わせること。

・給与（本俸）は支払われるが、諸手当については条件確定後に決める（5月にまとめて支払う予定）。

・保険証は、旧勤務校での住所で暫定的に私学事業団に申請する予定。⇒承認

・新任教員懇談会は、中止とする。⇒学部長の同意の下、承認。

## (2)事務系職員

・4月1日から出勤してもらうことが承認された。

## 8. 土樋キャンパスへの入構について

・通用門は、正門一箇所だけとする。車の入構は、北門5からとする。⇒承認

## 9. 緊急対策会議の今後のあり方について

### (1)本部組織の編成

・本部はこれまで通り、本館会議室。

・17日からは、9時—17時の開設とする。

・人員体制は検討し直すことになる。

・避難学生の食事については、生協の炊き出しができる間に対応する。

・施設課職員の2名体制は維持する。

### (2)学外への対応（17日以降）：以下の窓口をHPにUPする。

①窓口対応時間：9時から17時まで

②対応窓口：受験生（入学予定者）・保護者＝入試部入試課 022-264-6455

在学生・保護者＝学生部学生課 022-264-6471

報道機関・一般＝東北学院大学災害対策本部 022-264-6416

大学院生、科目等履修生など＝学務部 022-264-6451

⇒泉キャンパス：入試（新入生）関係は上記の窓口が対応する。＝承認

⇒HPだけではなく、概括的情報等を各種プレス（ラジオ、新聞、テレビなど）に情報を流す。＝承認

## <対策会議での補足説明等>

### 1. 施設部

(1)煙突撤去作業は進捗状況により遅れる可能性あり。

(2)重機、人員、燃料等の不足から、給水管の補修等が遅れる可能性がある。

### 2. 社会福祉協議会からTGUへのボランティア派遣協力依頼の件（学長室長から）

・阿部重樹先生に調整窓口になってもらう。＝承認

### 3. 中高からの追加報告

- ① 宿泊高校生は 7 名となった。
- ② 施設関係で、中高建設に携わった前田建設から、教室の立ち入りは問題なしとの報告があった。

4. 多賀城から

- ① 対策会議の資料を PDF にして、多賀城まで送付してもらいたい。

5. 明日の会議は、午後 3 時から開催する。